

グリーンベル21活用市役所中心に調整中

地域子育て支援拠点・歴史資料館なども検討



グリーンベル21

7月15日に開催されたグリーンベル21特別委員会に於いて、市民から寄せられた利活用に関する意見が報告されました。それによると、1、「市長の意見箱」へ寄せられた意見18件、2、沼田市区長会沼田支部から提案された意見、3、市民構想会議委員から寄せられた意見13件のうち、い

ずれも市役所が多く、店舗、スポーツ施設、生涯学習施設、資料館、イベントホール、児童施設、高齢者及び障がい者施設などが上位を占めていました。しかし、いずれも件数が少なく、「市民アンケートを実施すべきだ」などの意見も出ましたが、井之川博幸委員は、日本共産党市議団が市内に配布し実施した「市民アンケート」で、600人を超える回答があり、市役所が一番多く、報告があった内容と同様な傾向であり、まとめた結果は市長に提出してあることを紹介し、「参考資料」として活用するよう求めました。

グリーンベル活用推進課長は、「参考資料として活用していく」と答えました。

井之川委員は、テナントの誘致について、「店舗は当然だが、市民意見に出ていた郵便局や商工会議所など準公共的施設なども検討しているのか」と質問しました。

推進課長は、「公募したり、こちらからお願いしたりなど公共・準公共的施設については対応していくことを検討している」と答えました。

その他、グリーンベル21建物調査中間報告の概要が報告されました。それによると新耐震設計法に基づく構造設計がされており、現行基準と同等な耐震水準を有しているとの判断がされました。しかし、建物外部、空調設備、電気、搬送など緊急的修繕から10年後まで長期的に修繕しなければならない個所が何か所もあり、今後「採光のための窓」を付けるなどの改修と合わせて、工事費の見積もりに取り組んでいく方針が説明されました。

ぬまた起業塾に30人が参加

7月10日に開催された経済建設委員会に於いて、「ぬまた起業塾」への入塾者が30人（男性23人、女性7人）になったと報告がありました。そのうち、総合コースが16人、6次産業コースが10人、観光コースが4人です。

入塾者は、7月18日の開講式から来年1月23日まで月2回の講座やビジネスプラン作成に挑みます。

グリーンベル管理会社沼田都市開発（株）が解散

グリーンベル21を管理してきた沼田都市開発（株）が6月29日株主総会を開催し、会社の解散を決めました。

沼田都市開発は、沼田市や銀行などが出資して作った第三セクターでAコープを誘致した時に市が1億円を増資して、全体の60%を持つ筆頭株主となっていました。サティ撤退後、テナントが定着せず、沼田都市開発の収入も激減していました。

また、三井生命が保有床をメドテックという再建会社に譲渡してからは、メドテックと沼田都市開発との争いが絶えず、訴訟までに発展していました。

「アベ政治を許さない」と全国一斉に掲げる運動は18日午後1時です。

利根沼田戦争させない実行委員会は午後12時45分に裁判所前集合です！

ぜひ参加しましょう！

澤地久枝さんや鳥越俊太郎氏などが呼び掛けている「アベ政治を許さない」と書いた紙を掲げる運動は、18日午後1時に実施します。

利根沼田戦争をさせない実行委員会は、裁判所前に午後12時45分に集合です。

2015年7月19日	No.757
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	